

正誤表（現況分析（教育））

37：富山大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	01_人文学部	p.1-3	・自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料（別添資料 0101-i3-3）	・自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料（別添資料 3701-i3-3 ）	資料番号に誤りがあったため
02	01_人文学部	p.1-5	明確な目的意識をもった授業履修や授業時間外の学習の重要性を周知している	明確な目的意識をもった授業履修や授業時間外の 学修 の重要性を周知している	誤字があったため
03	01_人文学部	p.1-6	学生が抱える学習上の困難の早期発見とその解消に努めている	学生が抱える 学修 上の困難の早期発見とその解消に努めている	誤字があったため
04	01_人文学部	p.1-7	探究科を含む高等学校への講師派遣を行い広大連携に努めていることも	探究科学科 を含む高等学校への講師派遣を行い 高大連携 に努めていることも	誤字があったため
05	01_人文学部	p.1-8	人文学部 12 名が参加し	人文学部生 12 名が参加し	脱字があったため
06	01_人文学部	p.1-9	そのコーディネーターを務める日本語学の教授のゼミ	そのコーディネーターを務める日本語学の 教員 のゼミ	誤字があったため
07	01_人文学部	p.1-9	考古学研究室による地域の遺跡等発掘	考古学研究室による地域の 遺跡発掘等	誤字があったため
08	01_人文学部	p.1-10	2017 年度からは公開研究交流会「富山循環型『人文知』研究プロジェクト公開研究交流会」	2017 年度からは 公開研究交流会 「富山循環型『人文知』研究プロジェクト公開研究交流会」	不要箇所があったため

正誤表（現況分析（教育））

09	01_人文学部	p.1-11	各年度 420 名を越えている	各年度 420 名を <u>超</u> えている	誤字があったため
10	02_人文科学研究科	p.2-4	自らの専門分野の専門的な知識や方法論などを学習させている	自らの専門分野の専門的な知識や方法論などを <u>学修</u> させている	誤字があったため
11	02_人文科学研究科	p.2-4	明確な目的意識をもった授業履修や授業時間外の学習の重要性を周知している	明確な目的意識をもった授業履修や <u>授業時間外学修</u> の重要性を周知している	誤字があったため
12	02_人文科学研究科	p.2-9	修士課程における標準修業年限内の卒業率は、	修士課程における標準修業年限内の <u>修了</u> 率は、	誤字があったため
13	02_人文科学研究科	p.2-9	また、「標準修業年限内×1.5」年内の卒業率は、	また、「標準修業年限内×1.5」年内の <u>修了</u> 率は、	誤字があったため
14	03_人間発達科学部	P.3-2	富山大学は中期目標において、大学の基本的な目標として、別添資料 3703-i0-0 表Aのような	富山大学は中期目標において、大学の基本的な目標として、別添資料 <u>3703-00-1</u> 表Aのような	資料番号に誤りがあったため
15	03_人間発達科学部	P.3-7	2021 年度からの AO 入試実施を実施予定である。	2021 年度から <u>の</u> AO 入試 <u>実施</u> を実施予定である。	誤字があったため
16	03_人間発達科学部	P.3-7	2017 年度より、発達教育学科学校教育コースの推薦入試の廃止したこと等の入試改革により、	2017 年度より、発達教育学科学校教育コースの推薦入試 <u>を</u> 廃止したこと等の入試改革により、	誤字があったため
17	05_経済学部	P.5-7	異文化理解等の能力を兼ね備えた国際的な視野を持つ人材を養成している（別添資料 3701-iA-1）	異文化理解等の能力を兼ね備えた国際的な視野を持つ人材を養成している（別添資料 <u>3705-iA-1</u> ）	資料番号に誤りがあったため
18	05_経済学部	P.5-7	テストの最高点もしくは平均点は向上している（別添資料 3701-iA-2）	テストの最高点もしくは平均点は向上している（別添資料 <u>3705-iA-2</u> ）	資料番号に誤りがあったため

正誤表（現況分析（教育））

19	07_生命融合科学 教育部	P.7-2	富山大学生命融合教育部	富山大学生命融合科学教育部	脱字があったため (ヘッダー部分)
20	07_生命融合科学 教育部	P.7-3	公表された教育課程方針（別添資料 3707-i2-1（再掲）、3707-i2-2（再掲））	公表された教育課程方針（別添資料 <u>3707-i1-1</u> （再掲）、 <u>3707-i1-2</u> （再掲））	資料番号に誤りがあったため
21	07_生命融合科学 教育部	P.7-6	成績評価基準（別添資料 3707-i3-4（再掲）、別添資料 3706-i6-1）	成績評価基準（別添資料 3707-i3-4（再掲）、別添資料 <u>3707-i6-1</u> ）	資料番号に誤りがあったため
22	07_生命融合科学 教育部	P.7-6	成績評価の分布表（別添資料 3706-i6-2）	成績評価の分布表（別添資料 <u>3707-i6-2</u> ）	資料番号に誤りがあったため
23	07_生命融合科学 教育部	P.7-7	・・・された論文に限定することとした（別添資料 3703-i7-9）	・・・された論文に限定することとした（別添資料 <u>3707-i7-9</u> ）	資料番号に誤りがあったため
24	07_生命融合科学 教育部	P.7-7	学生受入方針が確認できる資料（別添資料 3707-i2-1（再掲）、3707-i2-2（再掲））	学生受入方針が確認できる資料（別添資料 <u>3707-i1-1</u> （再掲）、 <u>3707-i1-2</u> （再掲））	資料番号に誤りがあったため
25	09_薬学部	p.9-6	参加企業の増加に伴い、県内就職割合も平成 30 年度の 10.9%から平成 31 年度には 18.5%と向上している。	参加企業の増加に伴い、県内就職割合も平成 30 年度の 10.9%から令和元年度には 18.5%と向上している。	誤字があったため
26	09_薬学部	p. 9-9	富山県の製薬企業の寄付により設置した寄付講座	富山県の製薬企業の寄附により設置した寄附講座	誤字があったため
27	09_薬学部	p. 9-12	同時に 1 年次生対象の薬学部なんでも Q&A の実施を開始し	同時に 1 年次生対象の「薬学部なんでも Q&A」の実施を開始し	脱字があったため
28	09_薬学部	p. 9-12	適切な課題提出を通じた学生の自主学習の促進等を実施していくこ	適切な課題提出を通じた学生の自主学習の促進等を実施していくこ	脱字があったため

正誤表（現況分析（教育））

			と教授会で確認している。	とを教授会で確認している。	
29	10_医学薬学教育部	p. 10-4	令和元年度には授業科目担当の意向調査を実施，その結果をもとに	令和元年度には授業科目担当の意向調査を実施し，その結果をもとに	脱字があったため
30	10_医学薬学教育部	p. 10-8	(別添資料 3110-i7-7~8)	(別添資料 <u>3710-i7-7~8</u>)	資料番号に誤りがあったため
31	10_医学薬学教育部	p. 10-8	(別添資料 3710-i3-4~5 (再掲)、3110-i7-9~10)	(別添資料 3710-i3-4~5 (再掲)、 <u>3710-i7-9~10</u>)	資料番号に誤りがあったため
32	10_医学薬学教育部	p. 10-9	「医薬品製剤開発実習」	「医薬品製剤開発 <u>学</u> 実習」	脱字があったため
33	10_医学薬学教育部	p. 10-10	日本学術振興会研究拠点形成事業 (採択機関：平成 28~30 年度)	日本学術振興会研究拠点形成事業 (採択 <u>期間</u> ：平成 28~30 年度)	誤字があったため
34	10_医学薬学教育部	p. 10-10	寄付により設置した寄付講座「製剤設計学講座 (客員教授 1 名、客員助教 1 名)」	<u>寄附</u> により設置した <u>寄附</u> 講座「製剤設計学講座 (客員教授 1 名、客員助教 1 名)」	誤字・脱字があったため
35	10_医学薬学教育部	p. 10-15	各設問への大変良い、良いとした肯定的な回答がおおよそ 50%以上を占め	各設問への「 <u>大変良い</u> 」、「 <u>良い</u> 」とした肯定的な回答がおおよそ 50%以上を占め	脱字があったため
36	10_医学薬学教育部	p. 10-15	その中でも専門教育による深い専門的知識・技能についての項目においては	その中でも「 <u>専門教育による深い専門知識・技能</u> 」についての項目においては	誤字・脱字があったため
37	15_芸術文化学部	p.15-4	5つのプロジェクト授業と4つの地域連携授業を開催した。	5つのプロジェクト授業と4つの地域連携授業を <u>開講</u> した。	誤字があったため
38	15_芸術文化学部	p.15-4	その他、「授業製品評価法」では、	その他、 <u>授業「製品評価法</u> 」では、	誤字があったため

正誤表（現況分析（教育））

39	15_芸術文化学部	p.15-5	優秀作品を選抜し「GEIBUN SELECTION 展」を開催し、	優秀作品を選抜し「 <u>富山大学芸術文化学部卒業制作展セレクション</u> 」を開催し、	名称に誤りがあったため
40	15_芸術文化学部	p.15-7	プロジェクト授業である「地域プロジェクト実習」は、	プロジェクト授業である <u>特別実習（「ミラレ金屋町」プロジェクト実習）</u> は、	科目名に誤りがあったため
41	15_芸術文化学部	p.15-7	また、「高岡クラフト市場町」プロジェクト実習では	また、 <u>特別実習（「高岡クラフト市場町」プロジェクト実習）</u> では	科目名に誤りがあったため
42	15_芸術文化学部	p.15-7	アートを通じて地域発信を行う活動「LIVING ART in OHYAMA」では、	アートを通じて地域発信を行う <u>特別実習（「LIVING ART in OHYAMA」プロジェクト）</u> では、	科目名に誤りがあったため
43	15_芸術文化学部	p.15-7	授業ではないが GEIBUN SELECTION 展を富山県美術館で開催しており、	授業ではないが <u>富山大学芸術文化学部卒業制作展セレクション</u> を富山県美術館で開催しており、	名称に誤りがあったため
44	15_芸術文化学部	p.15-8	芸文基礎演習においては、本学部の工学系から	芸文基礎演習 <u>（A～D）</u> においては、本学部の工学系から	科目名に誤りがあったため
45	15_芸術文化学部	p.15-9	標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 3715-i4-4（再掲））	標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 <u>3715-ii1-1</u> （再掲））	資料番号に誤りがあったため
46	16_芸術文化学研究科	p.16-4	それらの作品を中心に展示する GEIBUN SELECTION 展を開催し、	それらの作品を中心に展示する <u>富山大学芸術文化学部卒業制作展セレクション</u> を開催し、	名称に誤りがあったため
47	16_芸術文化学研究科	p.16-6	第3期中期目標期間（令和元年度末まで）は7名に増加している（別添資料 3715-iA-1）	第3期中期目標期間（令和元年度末まで）は7名に増加している（別添資料 <u>3716-iA-1</u> ）	資料番号に誤りがあったため